

オレンジティールール取決め事項

2025.4.6

NO	項目	内 容
1	参加資格	① 小学1年～3年生までの児童 ② 刈谷市軟式野球連盟少年部に登録を済ませ親の同意を得られ且つ、スポーツ障害保険に加入済の児童とする(団のユニホームを着用) ③ 1チーム25名以内に限定しない、但し試合出場は25名以内(1団体21名以上のチームは2チームでもよい) ④ 選手の背番号登録は 0～27、40～99番までとする ⑤ 1団体8名以内のチームは他のチームとの合同編成でもよい (各チームのユニホーム着用可とする。但し背番号は重複しない事。少年部の許可を必要とする) ⑥ 監督、コーチは20才以上とする ⑦ 監督は30番、コーチは28、29、31～39番の背番号を必ず付けること ⑨ ベンチ入りした監督、コーチは団のユニホーム着用のこと。ベンチ入りするスタッフ(スコアラー含む)は5名以内とし、団の帽子を着用のこと
2	試合方法	① 本大会は6回戦とし 1時間を越えて新しいイングには入らない ② 1イニング5点入った時点で攻守を交代する(決勝トーナメントも同) (但し6回表終了時点で5点差以上あっても1時間以内なら裏の攻撃を認めても良い) ③ リエントリー制(再出場)を決勝トーナメントまでを含め採用する(詳細は別紙) ④ 予選リーグ戦は1時間を経過 若しくは6回終了時に同点の場合は引き分け。以下順位決定は次とする。 ・順位は勝点制とし、勝点の多いチームから上位とする。 ・勝点は、(勝利3点、引き分け1点、負け0点) (1) 2チームの勝点が並んでいる場合は、当該対戦の勝者を上位とする ただし、当該対戦が引き分けの場合、リーグ戦全試合の成績により以下の順で順位を決定する。 ① 勝ち数が多いチームが上位 ② 抽選 (2) 3チーム以上の勝点が並んでいる場合、リーグ戦全成績により以下の順で順位を決定する。 ・当該(3チーム)対戦の勝者を上位 ・勝ち数が多いチーム上位 ・抽選 ⑤ 決勝トーナメントは1時間を経過 若しくは6回終了時に同点の場合は、2回の延長戦 尚、同点の場合は抽選とする(○×札抽選) ⑥ 打者は1球ごとに球審の笛の合図でボールを打つ ⑦ 打者はティー上のボールをフルスイングすること (明らかな ハーフスイングやバント風はファールとする) ⑧ 3球ファール、3球空振りはアウトとする(ファールと空振り混合でもアウト) 又、スリストライク目がファールラインを超えた時もアウトとする ⑨ フェア、ファールの判定 ・・・(1) バットがボールに当たりベースより前(インフィールド内)に 転がった時は ・・・フェア ・・・(2) バットがボールより下(ティーボール部)を打ってフライになった時 ・ノーバウンドキャッチ ・・・アウト ・ワンバウンドキャッチ ・・・ファール ・落球した時 ・・・ファール ・・・(3) インフィールドフライはなしとする 審判は速やかに笛等でファールをコールする ⑩ バットの投げ捨て及び反則打球(バッターボックスより足が出て打つ等)は1回目は注意 2回目からはアウトとする場合もある(同一打者) (指導者はバットの投げ捨て、反則打球をしないように指導する) ⑪ 盗塁はなしとする(走者は打者が打つ前に離塁したらアウトとする) (但し、打者の空振り時の離塁はアウトにしない) ⑫ 投手がピッチャーサークル内で完全捕球した時点でボールデッドとする(笛にてコール) ⑬ 守備側は打撃が完了するまでディフェンスゾーン内に入ってはならない。但し、打撃後は可とする ⑭ タイムの回数は攻撃側3回、守備側3回以内とする
3	審 判	① 審判は各団のスタッフで行う(1チーム2名選出する) ② 捕球、落球、フェア、ファールの判定等審判の判定に従う
4	そ の 他	① 打者、走者、ランナーコーチ(選手)は必ずヘルメットを着用する ② 捕手はプロテクター、レガース、マスクを着用する ③ ティーボール試合のみコーチが選手と一緒にランナーコーチボックスに入ることを許可する ④ 試合球はマルエスJボールを使用する 試合球は事務局側で準備、各ブロック長に配布する(予選リーグ終了後返却) ⑤ リーグ戦での不戦勝は勝ち点3、不戦敗は勝ち点0 ⑥ 決勝トーナメントの日程は天候、学校行事、連盟都合以外では変更をしない